

# 放射線科の検査あれこれ

この検査はどんな事をされるんだろう？  
いつも受けてるけど結局何の検査なんだろう？  
なんて疑問に答えます。

# 健診で行う画像検査の種類

- ▶ 胸部レントゲン
- ▶ MMG(マンモグラフィ)
- ▶ バリウム検査
- ▶ 骨密度測定
- ▶ 胸部CT
- ▶ 頭部MRI

# 胸部レントゲン

《料金》	組合員	：	1,540円
	非組合員	：	1,540円
	広島市検診	：	400円

- ▶ 主に肺野の観察。肺は空気成分が多いため、少ない放射線量で撮影可能。しっかり吸気（息を吸い込んだ状態）で撮影する事で、肺野が広く観察できる。
- ▶ 画像上で肺に重なるものがあると病変があっても見えにくくなるため、ネックレスや下着(金具やプラスチック部分のあるもの)、プリントのある肌着等があれば脱いだ状態で検査着を着て下さい。

# MMG(マンモグラフィ)

《料金》	組合員	：	4,400円
	非組合員	：	6,600円
	広島市検診	：	1,600円

- ▶ 乳腺の撮影。強く圧迫して撮影しますので、個人差はありますが痛みを伴う事があります。乳腺の張りが少ない時期に受診されると、痛みの軽減に繋がると思います。画像上病変が疑わしい場合は細胞や組織を採取したりMRIにて精査する事もあります。MMGだけで悪性と判断出来る訳ではありません。
- ▶ 40歳以上の方、血縁者に乳がんの既往のある方などにお勧めします。

# バリウム検査

《料金》	組合員	：	7,700円
	非組合員	：	11,000円
	広島市検診	：	2,200円

- ▶ 胃の検査。X線吸収の多いバリウムとX線をほぼ吸収しない空気とで胃の中の凹凸を画像化します。バリウムで胃の壁を洗い、しっかり付着させる事でより詳細な観察が可能となります。水分が胃の中にあるとバリウムが薄まって付きにくくなるため、水分摂取に制限を設けています。また、食べ物の残り(残渣)があると影に隠れて病変が見えなくなる可能性があります。前日は遅い時間の食事や消化の悪い食物を控えて下さい。

# 骨粗しょう症健診

《料金》	組合員	：	1,650円
	非組合員	：	2,200円
	広島市検診	：	1,200円

- ▶ 手の撮影により骨密度を測定。年齢別平均との比較や若い頃との比較、骨量等が出ます。骨粗しょう症になると骨密度が低下し、少しの負荷で骨折するリスクが高まります。骨量の測定は様々な方法がありますが、健診では基本左手1枚のみですぐに終わります。
- ▶ 骨量が気になる方、これまで一度も計測した事が無い方などにお勧めします。5歳刻みの節目で市の制度が利用できます。それ以外の年齢でも受診できます。

# 低線量肺がんCT検査

《料金》 組合員 : 7,150円  
非組合員 : 9,900円

- ▶ 低線量肺がんCTでは、通常の胸部CTのおよそ1/5～1/7の被ばく線量で撮影しています。胸部レントゲンよりもより小さく早い段階で病変を見つける事ができるため、早期治療が可能となり死亡率の減少に繋がります。
- ▶ 50歳以上の方、喫煙中や喫煙歴のある方、血縁者で肺がんの既往がある方などにお勧めです。

# 脳ドック（頭頸部MRI・MRA）

《料金》 組 合 員 : 20,460円

非 組 合 員 : 26,400円

- ▶ 頭部の輪切り画像と血管、頸部の血管画像を撮影し、脳内の大きな病変や血管の狭窄・動脈瘤といった異常がないか調べます。MRAはMR Angiographyの事で、MRIを使って血管の画像を得る撮影法の事を言います。造影剤を使用せずに血管の情報を得る事ができます。
- ▶ 40歳以上の方や生活習慣病の指摘のある方、血縁者で脳卒中の既往のある方等にお勧めです。